

日本ELVリサイクル機構 ニュースレター (ELV Newsletter)

《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2-2 一美ビル5F

Tel:03-3519-5181 Fax:03-3597-5171 メール: jaera-homepage@elv.or.jp URL: http://www.elv.or.jp/

私は昨年度より、この広報部会を手伝わせていただいております。その役割のせいもあるのでしょうか、業界の変化というものを肌身で感じます。いまこの業界は新しい時代へ向かって確実に変化しつつあるようです。新しい時代、それは決して明るい展望というよりも、「果たしてこれからこの業界はどうなるのか?」こんな不安が心をよぎってしまうのは私だけではないでしょう。「不動智」という言葉があります。これは禅僧・沢庵和尚の「不動智神妙録」にある言葉です。沢庵和尚が柳生但馬守に説いた剣禅一如の兵法の言葉として知られています。心が物事に捉らわれないように、心が物事に捉らわれないように、迷わず、捉われず、止まらずといった状態であること、必要に応じて心には心は一力所にとどめてはならないと説いております。名言至極。いまこそ先人の教え、この不動智の心構えこそ我々に必要とされている知恵なのかもしれません。

永田 則男(広報部会長・山形県)

巻頭言

沢庵和尚の「不動智神妙録」にある言葉です。沢庵和尚に説いた剣禅一如の兵法の言葉として知られています。

目次

巻頭言1
ELV機構	
定期社員総会のお知らせ1
安全作業指導員ご紹介2
ELV機構便り	
環境省からのお知らせ2
経産省からのお知らせ2
ELV機構理事会報告3
九州ブロック会議報告3
スクラップ市場最新情報4
編集後記4

日本ELVリサイクル機構 平成25年度定期社員総会ならびに同懇親会のご案内

先頃、日本ELVリサイクル機構の平成25年度社員総会の詳細が決まり、社員である各地域団体に対して開催案内が送られました。また、全ての会員に対して、社員総会後に予定されている懇親会のご案内が届けられたことと思います。

6月18日(火)に開催される本年度の定期社員総会の内容ならびにプログラムは以下の通りです。

開催場所: 鉄鋼会館 701号室
東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
<http://www.tekko-kaikan.co.jp/access/access.html>

第1部 《定期社員総会》 13:00~14:00

- 次第
1. 平成24年度事業報告及び収支報告
 2. 平成25年度事業計画及び収支計画
 3. その他

※総会はELV機構を構成する社員(各地域団体長)の出席をもって行われるものですが、会員の皆様にも傍聴していただくこともできます。

第2部 《会員交流会》 14:15~15:45

会員交流会は、ELV機構社員(各地域団体長)や会員が参加し、相互間の情報交換、意見交換などを通じてELV機構参加者の理解促進、結束の強化を図るものです。社員、会員の皆様には是非ご出席いただき、より良いELV機構を目指して活発な交流を図っていただきたいと考えます。機構に対するご意見や取り上げてほしいと思

われるテーマなどがあれば、予めELV機構事務局までご連絡ください。

なお、定期社員総会、会員交流会に出席ご希望の向きは、各所属団体(部品流通団体を含む)を通じてお申込みいただくようお願いいたします。本件に関するご質問等があれば、以下のELV機構までお問い合わせください。

【ELV機構事務局】
電話: 03-3519-5181
Eメール: jaera-office7@ark.ocn.ne.jp

《平成25年度定期社員総会懇親会》

定期社員総会、会員交流会の後、外部関係者をお招きして懇親会を開催いたします。会員相互の懇親を図っていただくとともに、外部関係者とも親しく交流していただく良い機会です。社員、会員の皆様におかれましては奮ってご出席ください。

日時 平成25年6月18日(火)
16:00開会 (15:30受付開始)
場所 鉄鋼会館 900号室
(総会開催場所と同じです)
会費 お一人様 5,000円
(当日受付にて徴収いたします)

なお、出席ご希望の皆様は、それぞれの所属 地域団体、部品流通団体を通じてお申込み下さい。 □

前号(vol.47、49)に引き続き、安全作業指導員として活躍いただいている皆さんをご紹介します。

色々なご事情により、残念ながら、現在登録されている安全作業指導員全員の皆さんからご返事が頂けなかったため、本企画は今回で終了いたします。今回ご紹介できなかった方々につきましても今後機会があればご紹介したいと思っています。我々業界のためにご努力いただいている安全作業指導員の皆様の益々のご健闘をお祈りいたします。

なお、安全作業指導員の皆様にお答えいただいた質問は次の通りです。

Q1：安全作業指導員を引き受けたきっかけは何ですか？

Q2：安全作業指導員になって苦勞されたことはどんなことですか？

Q3：安全作業指導員になってよかったこと、学んだことはどんなことですか？

Q4：安全作業指導員としての抱負は何ですか？

篠原 裕紀さん（四国交産㈱ 香川県）

1. 安全作業指導員をしてくれないかと頼まれたのがきっかけです。
2. まだ指導した会社も少なく、自分の勉強不足の為、誤った情報を伝えたりしないか不安に思うことがあります。
3. 今まで知らなかった会社を訪問できることです。解体業者は100社100様ですので、どの様な仕事の仕方をしているのか興味があります。
4. 安全作業指導した会社の方が分かりやすい指導をこころがけていきたいと考えています。



ELV機構便り

平成24年度自動車リサイクル連携高度化事業 報告書公表に関するお知らせ

平成24年度自動車リサイクル連携高度化事業の報告書が環境省ウェブサイト(以下URL参照)に掲載されました。また、報告書は、評価検討会の委員に配布された他、国会図書館ならびに環境省19階の環境省図書館に納本したとのことです。

<http://www.env.go.jp/recycle/car/material5.html>

経済産業省自動車課人事異動のお知らせ

平成22年7月に自動車課自動車リサイクル担当になられて以来、ELV機構の事業についてご尽力いただきました初沢課長補佐が、5月1日付で資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力市場整備課へ異動されることになりましたのでお知らせします。

杉田 初見男さん（㈱山本解体 大阪府）

1. ELVインストラクターの講習会の終わりに試験を受けたことがきっかけになった。
2. 通常の業務時間内に、仕事に優先させて指導業務につくため抜けざるを得ないのは当初難しかった。
3. 同業他社を訪問することでいろいろ学ぶことができる。自社の甘さを確認することもできた。
4. 新たに新規以外の安全作業指導が増えたので、組合間での内部浄化にも動きたい。



池田 博一さん（ハリタ金属㈱ 富山県）

1. 中部ブロックから選出されました。
2. 他社の方をご指導するため、自分自身も正しい知識をしっかりと持つ努力が必要であったことです。
3. 指導業務はまだ一回のみなので特にありません。
4. 先ずは頑張ることだと思います。



池田 済さん（㈱久保田オートパーツ 宮崎県）

1. 当社の前社長から「やってみないか?」と言われ「やります」と答えました。
2. 一番初めの仕事になった県内の講習会は、会場設営からすべて自分でやらなければならなくなり最も苦勞した記憶があります。
3. 色々な同業者様の会社に伺うことができたのがよかった。自社の設備が恵まれていることにも気づかされました。
4. 安全な車上作動処理、間違いのない移動報告の方法を伝えてゆきたい。



奥津 智昭さん（㈱旭自動車商会 茨城県）

1. 以前から茨城県のELVインストラクターをしておりまして。その後、県内に指導員が必要との事なので引き受けさせて頂きました。
2. 指導内容を正確に伝えたいので、なるべく分かり易い言葉を使ったり、相手の反応を見ながら指導しておりますが、伝えたい内容がきちんと伝わったかどうか不安に思う事が有ります。
3. 色々な方のお話や考え方が聞けたり、質問される事によって、改めて指導内容について考える機会を貰える事です。
4. 安全作業指導を行った方々に、「指導を受けて良かった」、「役に立った」と思って貰える様に、自分自身の知識や技術を深めていきたいと思ひます。



タイトル：世界
facebookより

平成25年度第1回理事会 開催報告

去る、平成25年4月25日(木)に平成25年度日本ELVリサイクル機構第1回理事会が開催されましたので概要を報告します。

時間 13:00～

場所 ELV機構本部会議室

出席者数 出席理事14名、欠席2名(内委任状1名)

- 酒井総務部会長が司会進行を務めて開会した理事会は、冒頭、衆議一決で河村代表理事を議長に選定。
- 今回は、主に「平成25年度定期社員総会」に関わる事項、「ELV機構の運営」に関わる事項について議論が行われました。
- 以前から機構本部より会員に対して協力を依頼している「不適正業者に関する情報提供」問題については、現状寄せられている情報が少ないことから、5月中を期間として

各ブロックで2社以上の情報提供を行うことが決定しました。

- それぞれの議題において発言者が一人に偏ることなく各理事が積極的に発言し、終始活発な議論が展開された有意義な理事会となりました。

《主な審議・報告事項》

1. 平成25年度定期社員総会について
 - (1) 平成24年度事業報告・決算報告(案)
 - (2) 平成25年度事業計画・予算計画(案)
2. 定款及び規約・規定の変更について
3. 感謝状の贈呈について
4. 活動報告・活動計画の提出について
 - (1) ブロック別
 - (2) 部会別
5. その他

(事務局報告)

～ELV機構九州ブロック会議 開催報告～

開催日時: 平成25年4月28日(日)13:30～17:00

会場: サンライフ2・3ホテル

参加者: 河村二四夫代表理事・スズキ(株)加藤弘様、マツダ(株)高上誠志様、各理事長 11名が参加



1)スズキ(株)加藤様より、使用済みリチウムイオンバッテリー回収の概要について説明があった。

- 取外し方法の詳細は、同社のホームページ上に操作マニュアルが掲載されている。
- バッテリーの引き渡しは、「スズキ電池引取受付センター」(0120-022 050 フリーダイヤル)を経由して行う。

2)マツダ(株)の高上様より、i-ELOOPキャパシターの強制放電処理について依頼があった。

- キャパシターの強制放電処理の要領については、同社のホームページ参照。
- 問い合わせ先は、マツダ(株)カスタマーサービスビジネス企画部リサイクル推進グループ 082-287-4083

3)自動車リサイクル士制度の創設について

平成24年度事業として検討されてきた「自動車リサイクル士制度」創設について、河村代表理事より概要の説明があった。

それによると、本制度の意図するところは、自動車リサイクル士

が受講する講習会を、自治体から「認定講習会」として認知してもらうことである。自動車リサイクル法に基づく適正処理の推進や安全作業の確保を進めることにより、まじめに取り組んでいる事業者が報われるようにすることであり、今後、積極的に各省庁への働きかけをおこない、連携を図ってゆくとの報告があった。

4)行政からの報告(項目のみ)

- ① 中古自動車の輸出における一時的な部品の取り外し範囲についてのお知らせ
- ② 使用済自動車の定義及び違法解体ヤード等対策の推進について
- ③ HFO-1234yfをカーエアコン用冷媒として使用する自動車の取り扱いについて
- ④ 無許可不適正業者に関する情報提供のお願い
- ⑤ エアバック類の車上作動処理における監査報告について

5)ELV機構事業計画(一部)

- ① 自動車リサイクル士制度認定講習会/インストラクター研修会 (6月19日(水) 10:00～17:00)
- ② 企業連携による資源循環の促進
- ③ 平成25年度予算案
- ④ 平成24年度自動車リサイクル連携高度化事業報告
エンジンコンピューター・エアバックコンピューター・カプラー3品目についての実績報告。
総処理台数 使用済自動車11,773台
(東:6,099台 西:5,674台)
エンジンコンピューター2,849kg
エアバックコンピューター1,358kg
エアバックカプラー444kg

6)平成25年度定期社員総会の案内
・協賛広告の募集について

7)各地域現状報告

地域別に仕入状況等の報告が報告があった。 □

～5月第3週(14日)の鉄スクラップ動向～

国際市場はシリア、日本玉は円安で様子見

鉄 スクラップの国際市場はシリアの展開となっている。米国玉などの価格について先安見通しが強く、日本玉も軟調模様だ。ただ、為替円安が進行したこと、10日の関東鉄源テnderが好値(H2平均32,256円)で落札されたことなどから、現時点では様子見の展開となっている。

ト ルコのHMS1(米No.1ヘビーなど)の輸入価格は前週末までに1トあたりCFR360ドル強。ギリギリと値を下げる展開となっている。このため、東アジアでも、需要家側の値下げ圧力が強まり、貿易筋によると、韓国ミルは新規商談で、米シッパーに対しCFR370ドル(米No.1ヘビー)を唱えているという。4月末頃は、需給双方で折り合わず成約は見られなかったものの、CFR380～390ドルどころで商談されていたため、10ドルほどの下落だ。

日 本玉も値下がり局面が続いたが、国際相場に先行して値下がりしたこと、この間に為替相場の円安が進行したことなどから、様子見機運も出ている。H2の韓国向け輸出価格は、ゴールデンウィーク明け後で1トあたりFOB31,500～32,000円中心だ。米国玉に比べ割安感も出ているため、4月末の価格水準をGW後も維持している。

関 東地区 電炉・シッパー、海外市場など様子見

関東地区の鉄スクラップ市況は、8～9日にかけての値下が

り後、様子見の推移となっている。韓国向けの輸出価格が大勢横ばいとなっているほか、10日の関東鉄源テnderが好値で落札されたことが影響している。ただ、国際相場は値下がり局面で、関東電炉やシッパー筋は海外市場の動向を注視している。H2炉前実勢価格は1トあたり31,500～32,000円中心。H2の湾岸浜値は30,500～31,000円中心。

東 海地区 電炉の下げ一巡感で様子見気配も

名古屋メーカーの大同特殊鋼は14日付で新断およびシュレッダーの購入価格を500円値下げした。また、新日鉄住金名古屋は15日付で全品種とも500円値下げした。H2炉前実勢価格は31,000～32,000円中心どころに下がり月央を迎えている。前月からの下げ幅はH2ベースで3,000～3,500円(一部4,000円)がたとなっている。ただ、東京製鉄田原工場の下げ幅は今年8日までで2,500円がたにとどまっている。

関 西地区 なおも先行き不安の残る市況展開

関西地区の鉄スクラップ市場ではGW明け以降、材料難で需給双方とも様子見が大勢となっている。ただ鉄鋼製品市況の不振の中、海外相場が安値追いとなっていることから、市中の気配は冴えない。目先は東京製鉄の出方待ち、という状況だ。大阪地区電炉のH2炉前実勢価格は32,500～34,000円見当で、GW連休前の価格帯からほとんど変わっていない。姫路地区のH2炉前実勢価格は31,500～32,000円見当。

注)価格、数量等は日刊市況通信社調べ、5月14日午後時点のもの

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



5月14日の国内スクラップ炉前実勢価格

		H2		気配
関東	北関東	31,500	～ 32,000	値下がり
	南関東	31,500	～ 32,000	値下がり
名古屋		31,000	～ 32,000	値下がり
関西	大阪	32,500	～ 34,000	値下がり
	姫路	31,500	～ 32,000	値下がり

▼このところの天候異常にはほとほと悩ませられる。日毎に変わる季節(?)、一日の温度差、体がついてゆけない▼ついてゆけないと言えば、アベノミクスなるもの。その効果か、長年続いた円高が急速に収束し、輸出産業が好調、株価も大幅続伸中。しかしながら、物価が上がり始めているのも事実。インフレ率を2%に制御できるのか。結局庶民が物価高に泣くなどといったことにならぬよう要注意だ▼生まれ間もない乳幼児の視界は30センチだという。ちょうど授乳する母親の顔との距離に等しい。ところが、ある調査によると、授乳中の母親の約80%の視線は子供の顔ではなく、スマホが携帯だとはい。最近、話をする時に相手の目を見ない若者が多いと言うが、その理由はこんなところにあるのかもしれない。▼ニュースレターのような紙媒体の場合、編集者と読者の視線が交錯することはない。編集者には読者の気持ちが掴めないし、読者には編集者の考えが捉えにくい。今回で50号を迎えた本誌の編集者として読者各位にお願いがある。それは、読者の皆さんからの誌面に対する反響がほしい。読者の叱咤激励が編集者にとって何よりの栄養剤となる。間もなく編集者が変わるが、そのことは変わらない。(編集子)

編集後記

は、授乳中の母親の顔は子供の顔で、スマホが携帯だとはい。最近、話をする時に相手の目を見ない若者が多いと言うが、その理由はこんなところにあるのかもしれない。▼ニュースレターのような紙媒体の場合、編集者と読者の視線が交錯することはない。編集者には読者の気持ちが掴めないし、読者には編集者の考えが捉えにくい。今回で50号を迎えた本誌の編集者として読者各位にお願いがある。それは、読者の皆さんからの誌面に対する反響がほしい。読者の叱咤激励が編集者にとって何よりの栄養剤となる。間もなく編集者が変わるが、そのことは変わらない。(編集子)